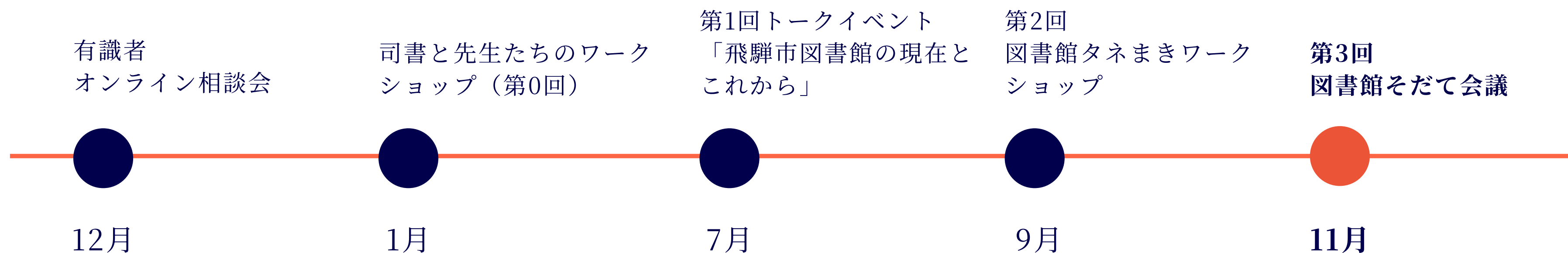


飛騨市図書館未来ミーティング2025とは



本を読むだけじゃない、図書館のあたらしい可能性を探るプロジェクトです。
図書館に関わりのあるみんなで、今ある図書館の魅力を見直し、これからやってみたいことや
さまざまな使い方を提案することで“あたらしい図書館”をリデザインします。
成果は「第3期飛騨市図書館運営方針」として、これから5年間の新たなビジョンとなります。
第3回では、第2回と追加募集により集まった運営アイデア＝図書館のタネをもとに議論を深めました。

アイデアのタネを分類① | その裏にある本質を見つける

みんなでワイワイ楽しみたい

コーヒーセミナー 紅茶セミナー お酒セミナー お茶会 パーティー 合コン 落語 マジックショー ビンゴ大会（景品付き）・・・

大人だからこそその趣味の時間

大人の工作（編物・折り紙・PPバンド等） レシピ本再現WS 初心者メイク講座（学生・育休明けの人） オリジナル図書バッグ作り・・・

ゆっくりゆったりいい時間

いい家具でごはんを食べたい 同じ場所でただ本を読む テーマを決めて別室で過ごす（ゲーム・映画・音楽） プラネタリウムからの泊まり・・・

いろんな人とつながりたい

友達やつながりをつくる座談会 外国の方と文化交流 言語交流大会 若い方～年配の方と一緒に方言・・・

深い話をじっくりしたい

神父と住職と宮司のトークバトル 不妊治療について語りたい ヒューマンライブラリー（仕事の話） ハートピアのサロン系催事・・・

自分を表現したい

先生になって得意なことを教える めい活 生活に役立つ風呂敷WS プレゼントする本のセレクトお手伝い・・・

アイデアのタネを分類② | その裏にある本質をみつける

みんなでワイワイ楽しみたい

読みたい本を見つけない

大人だからこそその趣味の時間

図書館をもっと使い倒したい

ゆっくりゆったりいい時間

本をもっと楽しみたい

いろんな人とつながりたい

他の人が読んでる本が知りたい

深い話をじっくりしたい

チームで盛り上がりたい

自分を表現したい

集中したいときもある

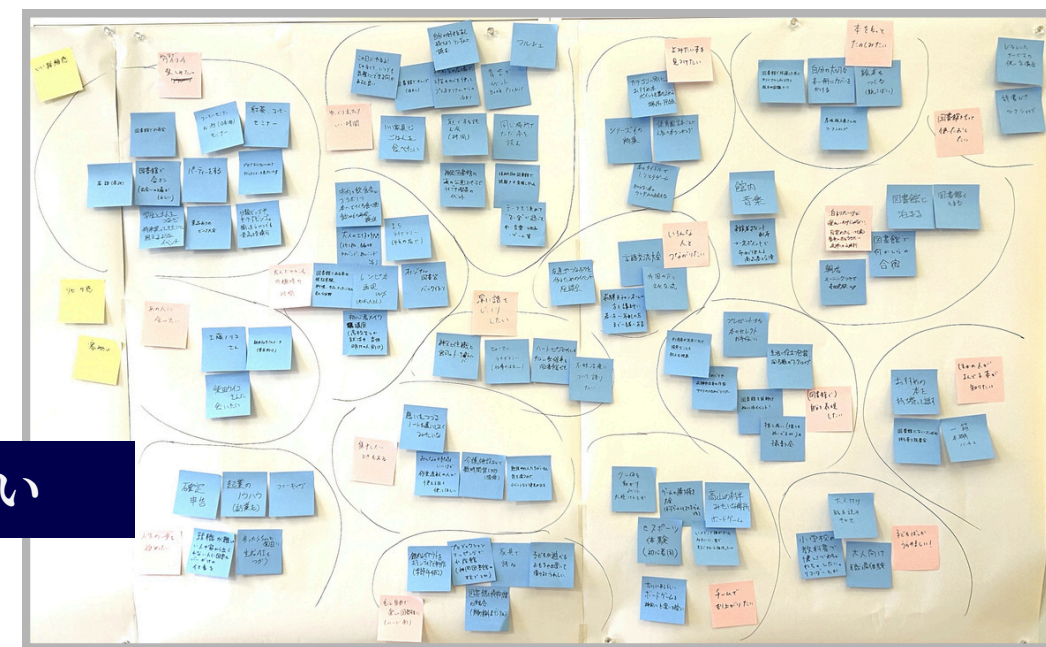
子どもばっかうらやましい

泊まりたいけど寝たいわけじゃない

人生の一步を進めたい

あのひとに会いたい

もっと自由で楽しい図書館に（ハード面）



Boxで拡大して見る

アイデアのタネを分類③ | 適度な距離感で、ひととつながりたい。

みんなで

みんなでワイワイ楽しみたい

読みたい本を見つけたい

大人だからこそその趣味の時間

図書館をもっと使い倒したい

子どもばっかうらやましい

ゆっくりまったりいい時間

本をもっと楽しみたい

泊まりたいけど寝たいわけじゃない

いろんな人とつながりたい

他の人が読んでる本が知りたい

人生の一步を進めたい

深い話をじっくりしたい

チームで盛り上がりたい

あのひとに会いたい

自分を表現したい

集中したいときもある

もっと自由で楽しい図書館に（ハード面）

1人で

アイデアのタネを分類④ | その時々で気分に変化する距離感

みんなでワイワイ楽しみたい

読みたい本を見つけたい

大人だからこそその趣味の時間

図書館をもっと使い倒したい

子どもばっかうらやましい

ゆっくりゆったりいい時間

本をもっと楽しみたい

泊まりたいけど寝たいわけじゃない

いろんな人とつながりたい

他の人が読んでる本が知りたい

人生の一步を進めたい

深い話をじっくりしたい

チームで盛り上がりたい

あのひとに会いたい

自分を表現したい

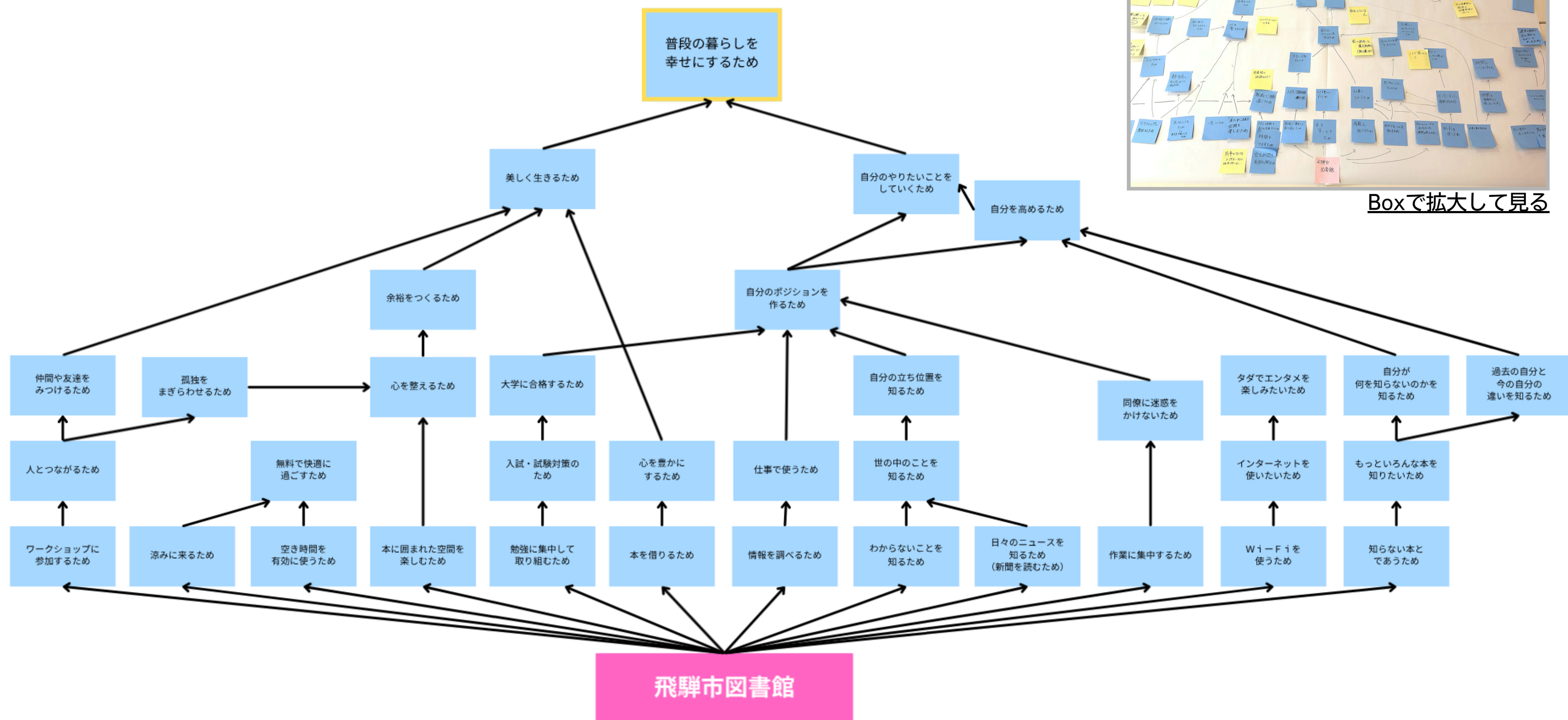
集中したいときもある

もっと自由で楽しい図書館に（ハード面）

やるぞ！

まったり

飛騨市図書館の価値① | 何のためにある？



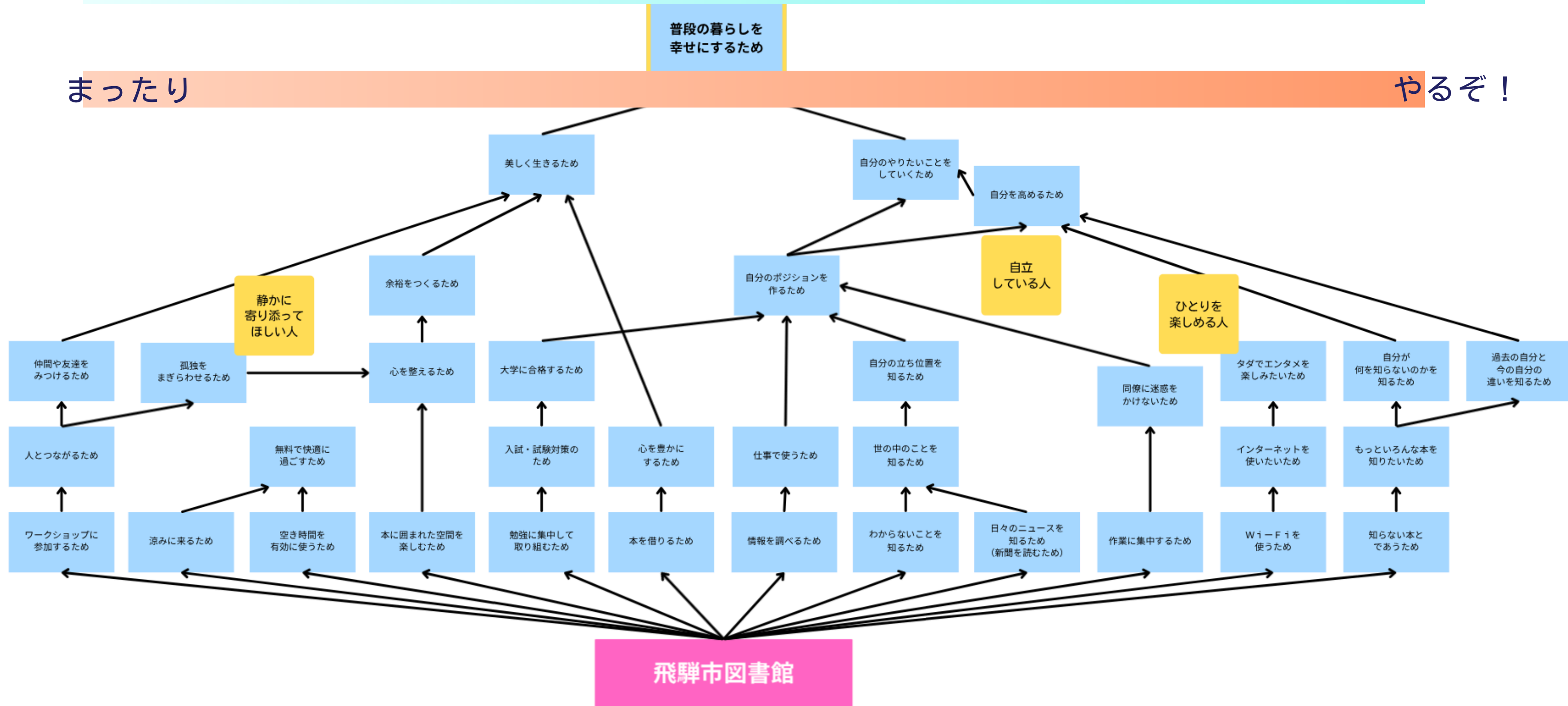
飛騨市図書館の価値② | ここにもグラデーションがある

1人で

みんなで

まったり

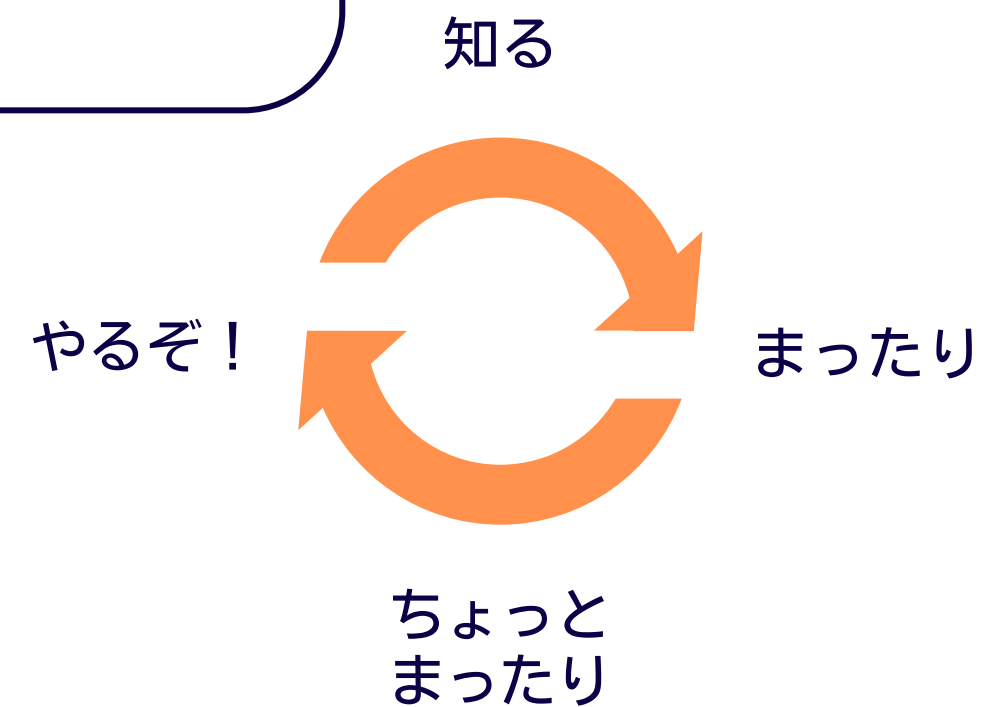
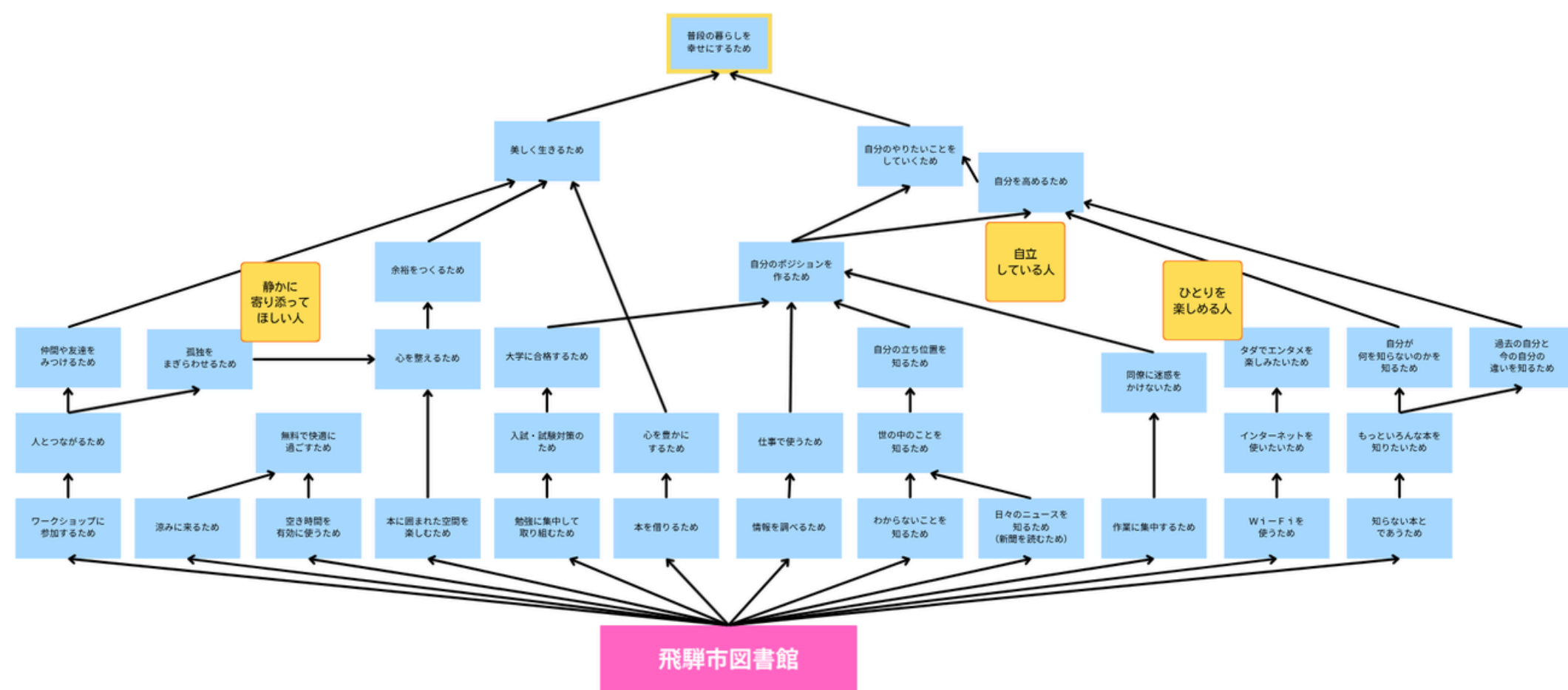
やるぞ！



飛騨市図書館の価値③ | 普段の暮らしを幸せにするため

普段の暮らしの幸せとは？

“タネ”から見えてきたのは「適度な距離感で人とのつながりを感じたい、作りたいと思っている」という思いだった。また、ひとりの人の中にも、前に向かって進む気持ちが強い時と、ゆっくりのんびりしたい時があり、大人数でわいわいしたいときも、1人になりたい瞬間もあることがわかった。静と動。緩急。そのバランスをとることが、よりよく生きるために大切なのではないだろうか？
今の自分に合った過ごししかたを自分で選択できる、そんな図書館になれば。



1人で

みんなで

ひだ万雑プラットフォーム構想

HIDA MAN-ZO PLATFORM

The library will be a hub that links residents with the services they need to solve their problems.

図書館が人々の課題とサービスをつなぐハブになる仕組み

多くのステークホルダー（図書館に関わりのある人たち）をつないで、はっきりした目的がなくても滞在できる場で、市が提供するサービス以前の領域を、情報・知識でカバーするソーシャルイノベーションの場

※ソーシャルイノベーション：社会課題を解決するための革新的な取り組みや事業、アイデアのこと。社会変革。

求める機能

ゆるくつながらせてくれる いろんな困りごとの手がかりをくれる やる気を高めてくれる 自己表現する機会をくれる

与える機能

人生のベテラン知識 イベント情報 こんな人いますよ 私これできますよ 参加します 口コミ 運営ボランティア



Boxで拡大して見る

ひだ万雑AI。AI的な人力チャットボット。

駅の伝言板のような、なんでも情報板。

みんなが勝手に予定を書きに来るカレンダー。

■ 図書館のレフェラルサービスとは違う「双方性」

※レフェラルサービス：利用者からの情報の要求に対して、その分野の適切な専門家や専門機関に照会して情報を入手し、提供するサービス。また、そうした専門家や専門機関を利用者に紹介するサービス。（図書館情報学用語辞典 第5版より）

用事がなくても入りやすい × 公的支援に繋がりやすい（第2の市役所） こんな施設は他にない。

これからの動き



これまでのワークショップで得られた飛騨市図書館の価値や新しいアイデアから、図書館が果たすべき使命を示し、今後5年間で取り組むべき業務を整理します。これにより方向性を明確にし、共有できる指針とするとともに、具体的な事業案や評価指標を整え、計画の実効性を高めます。図書館は地域とそこに住むひとりひとりを支える拠点として、しなやかに成長していきます。